

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名:瑞浪市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】
平和コーポレーション株式会社	日吉＝明世ルート	デマンド交通の新規利用者の掘り起こしを図った。運転免許証自主返納支援制度をPRしている。交通安全協会や警察と連携し、高齢者の運転免許証自主返納を促し、自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進した。デマンド交通の観光客利用の運用を始め、観光施設のホームページでも情報提供している。	A	計画どおり事業は実施された。	C
				1日の稼働便数は2.54便、利用人数は3.70人で、目標値(1日4便、利用人数16人)は達成できなかった。運用開始2年目であり、まだ稼働便数は伸びていくものと思われるが、利用人数は、乗合人数4人／便の目標値が高すぎるため、運用の実績を踏まえて、次回より乗合人数の目標値を2人／便に変更する。	①目標値の見直しを実施。平成31年度の計画では、利用人数の目標において、乗合人数を2人／便とした。 ②引き続き、制度周知に努める。区長会等で制度説明会を実施する。運転免許証自主返納支援制度の実施により自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進する。また、デマンド交通の観光利用により、稼働便数、利用人数の増加を図る。 ③要望の集約・対応に取り組む。

平和コーポレーション株式会社	大湫＝日吉東部ルート	デマンド交通の新規利用者の掘り起こしを図った。運転免許証自主返納支援制度をPRしている。交通安全協会や警察と連携し、高齢者の運転免許証自主返納を促し、自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進した。デマンド交通の観光客利用の運用を始め、観光施設のホームページでも情報提供している。	A	計画どおり事業は実施された。	B	1日の稼働便数は2.07便、利用人数は4.20人で、目標値(1日2便、8人)に対し、稼働便数は達成したが、利用人数は達成できなかった。利用人数は、乗合人数4人／便の目標値が高すぎるため、運用の実績を踏まえて、次回より乗合人数の目標値を2人／便に変更する。	①目標値の見直しを実施。平成31年度の計画では、利用者数の目標において、乗合人数を2人／便とした。 ②引き続き、制度周知に努める。区長会等で制度説明会を実施する。運転免許証自主返納支援制度の実施により自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進する。また、デマンド交通の観光利用により、稼働便数、利用人数の増加を図る。 ③要望の集約・対応に取り組む。
平和コーポレーション株式会社	釜戸ルート	デマンド交通の新規利用者の掘り起こしを図った。運転免許証自主返納支援制度をPRしている。交通安全協会や警察と連携し、高齢者の運転免許証自主返納を促し、自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進した。デマンド交通の観光客利用の運用を始め、観光施設のホームページでも情報提供している。	A	計画どおり事業は実施された。	C	1日の稼働便数は1.82便、利用人数は2.66人で、目標値(1日2便、8人)に対し、稼働便数、利用人数ともに達成できなかった。運用開始2年目であり、まだ稼働便数は伸びていくものと思われるが、利用人数は、乗合人数4人／便の目標値が高すぎるため、運用の実績を踏まえて、次回より乗合人数の目標値を2人／便に変更する。	①目標値の見直しを実施。平成31年度の計画では、利用者数の目標において、乗合人数を2人／便とした。 ②引き続き、制度周知に努める。区長会等で制度説明会を実施する。運転免許証自主返納支援制度の実施により自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進する。また、デマンド交通の観光利用により、稼働便数、利用人数の増加を図る。 ③要望の集約・対応に取り組む。